全調政連 ニュース　No. 2022-10

R4. 12. 1　　発行責任者　幹事長　佐々木 健

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

国民民主党と無所属議員による土地家屋調査士議員連盟 設立総会開催される

国民民主党と無所属議員による土地家屋調査士議員連盟設立総会が 11 月 28 日(金)衆議院第二議員会館 6 階会議室において開催されました。

浅野哲(さとし)衆議院議員(茨城 5 区)の司会により、呼びかけ人である古川元久衆議院議員(愛知 2 区)の挨拶後、設立趣旨の説明、規約の発表があり、会長に古川元久衆議院議員、事務局長に浅野哲衆議院議員が選出されました。



(古川元久会長)

連合会からは、岡田会長はじめ柳澤副会長、鈴木副会長、全調政連からは椎名会長、佐々木幹事長、上田副会長、早川副会長が参加いたしました。

連合会柳澤副会長より「予算・政策要望」の説明後、出席された鈴木義弘衆議院議員より「隣地立会い及び相続登記に関して」、嘉田由紀子衆議院議員からは「国庫帰属法の制定について」、玉木国民民主党代表より現在の「土地家屋調査士試験の受験者数及び土地家屋調査士の報酬について」等の質問がありました。

古川会長からは今回の設立趣旨として、土地の境界を取り扱う土地家屋調査士の皆さんが仕事をしやすくし、また、力を十分発揮できる環境を整えるため議連を立ち上げた。党として議員数は少ないが、一人一人は二倍、三倍の力を発揮できる精鋭たちなので期待しておしい、また、今後は勉強会、協議会を開きいろいろな問題点を協議していきたいと力強いお言葉をいただいた。



（古川元久議連会長、岡田会長、椎名会長及び出席議員、連合会・全調政連の役員）

（文　副会長　早川　正敏）